

人権だより

No. 230

2016. 10. 21

宇和島南中等教育学校
人権教育部



心眼を開く

進路部 岩崎朋子

「お母さん、“Ok, Google!”で調べようや。」CM効果なのか携帯の音声検索機能を用いてあらゆる情報を手にしたがる息子たち。私からの返事はほとんどが「ダメ!」です。

かつてないほどの情報を手元に簡単に運んでくれる便利な情報端末はまた、インターネットという誰にでも自由な発言の場を提供してくれます。このインターネットの情報伝達能力により、私たちは多くの人の意見を知ることができ、互いに助け合い、知識を共有し、賢くなる……はずでした。ところが、実際には同級生の悪口やうわさ話の発信、有名人のひぼう中傷、暴力的な動画の投稿などが起こっています。人々が心を解放して自己表現を始めたインターネットの世界には、良くも悪くも人の本音が現れます。それは今までずっと心にしまっていたものです。人には心の闇が存在します。時代が変わっても、年齢を重ねても消えることのないものです。多くの人は自分の中にある心の闇とうまく付き合い、コントロールすることができます。少くくらい嫌な思いをしても、ストレスをため込んでも、自分の力で対処することができます。しかし、まだ心のコントロールがうまくいかない人生の初心者や、自分の心のあやし方を学ばず、好き勝手に生きてきた人たちは、心の闇を表に出すことでストレスなどを処理しやすいものです。その手段としてネットの世界はとても都合がよかったのでしょ。今までつながらなかった人にも簡単に情報を伝えられることは、一見便利に思われますが、社会的に悪いことが簡単に伝わることは、かえって混乱を起こします。ネットにアクセスするということは、ときに人の心の闇をのぞきに行くことにもなるのです。

私たちはいつも自分にとって都合のよい情報を求めています。本当はどうかともよく知らずに、面白い情報にはすぐに飛び付いてしまいます。便利さに心を奪われることなく、むやみに情報やうわさ話を信じず、ささいなことにはかまわない心のゆとりを持ちましょう。そして、いろいろな経験を積み、心の眼を開き、最後は自分の眼でいろいろな角度から真実を確認する習慣を付けたいものです。


【 人権委員の声 】

- ・インターネット上では顔が見えないことから、気楽に書き込みや投稿ができるけれど、それをよいことに心ない行動に出る人もいるので、思いやりの気持ちを大事にしないといけないと思いました。便利さの追求によって大きな問題が起きてくるのは何とも言えない気持ちになります。僕自身、情報やうわさ話をうのみにしやすいので、心のゆとりを大切に生活していきたいです。
(6年2組)
- ・インターネットは私たちにとって便利なものなのに、それが悪口やうわさ話の発信源となっているのはとても残念です。ストレス発散のために、インターネットを利用するというのもおかしいことだと思います。たくさんの情報であふれている今、闇雲に情報を集め、正しいかどうかを気にしないということはよくありません。むやみに情報を信じるのではなく、自分自身でしっかりと情報が正しいかどうか見極めるようにしていきたいと思いました。
(6年2組)
- ・この記事を読んで、マスメディアの発達は私たちに大きな影響を与えているなと思いました。小さなことでさえ、すぐに出回ってしまう情報社会となり、知れば知るほど自分に負担がかかる情報もあると思います。多くの人々がネットを利用している現在、見知らぬ人とのネット上での会話も当たり前になり、被害に遭ってしまう若者も年々増えています。ネットの言葉は優しい言葉が多く、それをうのみにしてしまい、自分らしさを失ったり、事実と反することを信じてしまったりすることもあると思います。そんな人が増えないために、最も忘れてはいけない大切なことは、もっと身近に自分を見てくれている人がいることを意識することです。悩みやストレスをネットにぶつける人を少なくするためにも、身の回りの友人、家族の助けが必要だと私は思います。
(6年3組)
- ・確かに、インターネットには多くの便利な点がある一方、あらゆる危険が潜んでいることを改めて実感させられました。しかし、これからの社会ではインターネットを使いこなせなければ困る場面は増えてくると思います。だからこそ、インターネットを避けるのではなく、今のうちに、正しい使い方を学び、実践していこうと思いました。
(6年4組)
- ・私がこの文章を読んで感じたことは、自分の目で物事を判断することが必要だということです。「百聞は一見に如かず」という言葉があるように、うわさを聞いて決めつけたりするよりも、実際に自分の目で見る方が、自分の周囲への見方や性格などを知ることができると思いました。例えば、友人関係などでも、うわさ話を信じたりせず、本当にそうなんだろうかと考えることは、自分の人間性や優しさにつながるのだとも思います。
(6年4組)

【 考えてみよう！ やってみよう！ 】

来月3日には、文化祭が実施されますね。人権委員会では、全校の皆さんから「人権標語」を募り、その代表作品を展示したいと考えています。詳しいことは学級・クラスの人権委員が連絡します。用紙が配布されたら、読む人が温かい気持ちになれるような、すてきな標語を考えて、締切日までに提出してください。御協力、よろしくお願いします。

【 生徒作品 】



何もしないで後悔するくらいなら
とりあえず挑戦してみよう!!
何もしない後悔よりきっと気持ちがい
晴れるから!

(5年3組)

本[↑]気[↑]でやるって
かっこいい!

(5年4組)

